

(4) 指導計画

渡辺一W 千葉一T

	第1次	第2次	第3次	第4次
内容	リズム、高とび、ボールけりあそびに合わせた	リズム、高とび、ボールけりあそびに合わせた	リズム、高とび、ボールけりあそびに合わせた	リズム、高とび、ボールけりあそびに合わせた
時間(分)	5 5 15 20	5 5 10 25	5 5 10 25	10 5 10 20
協力者	TL W W W T	W W W T	W W W T	W W W T
分担	ST T T T W	T T T W	T T T W	T T T W
形態(集団)	大 大 大 小	大 大 大 小	大 大 大 小	大 大 大 小

(5) 児童の実態

① 1年生(男4名,女9名)計13名,2年生(男9名,女8名)計17名

1学年単位では,集団行動を身につけさせることが困難である。

② ゲーム,かけっこ,ダンス運動においては,組み分けにも支障をきたし,競争意欲も失いがちである。

③ 合併授業の実施後は,体育の授業に興味をもって参加するようすが見られる。

(6) 教授のための構想

教材研究の基本的態度により,年間計画で今月配当の合併授業内容について,TLが基調案をつくることになるのであるが,今回は,領域組み合わせの関係からチーム・メンバーの合議により作成することにした。

教材の構想については,各領域の本質的な「ねらい」に即することは当然であるが,小規模小人数学級校における前提条件として,集団性と,その行動力を高めることに配慮することにした。このような観点からボール運動を主体とし,体操・陸上運動を組み合わせることにした。4次限取り扱いの役割・分担は,ボール運動と体操・陸上運動とし,各単位時間内でTL,STの役割交替をすることにした。

体操については,主体的な自己調整により,自己の位置をみつめさせるため,大集団で行なうことにし,陸上運動については,活動力を考慮し,時に程度別の中集団での指導をすることにした。

ボール運動については,集団性を重視するが,ひとりひとりの技能向上をはかるため,程度別の小集団での指導を取り入れることにした。

全体をとおして異学年の同時指導なので,活動力,技能面で展開にむりがないかどうかを確めることにする。

(7) 基調案

題材領域	段階	内容	分担		時間	形態
			TL	ST		
体	1	(1) 集合、隊形、健康確認 (2) 学習めあての指示	W	T	5	大集団
	2	歩 走 (1) リズムに合わせて歩く、走る ・ ピアノの曲に合わせる ・ 早く、おそく、方向を変える ・ 平均台の上を歩く	W	T	8	大集団
	3	跳 (1) 足うちとび ・ 2人組でとぶ (2) びよんびよんとんで ・ 2重円をつくる ・ 歌いながらおどる ・ 交替のしかた ・ 曲に合わせておどる ・ 見せ合って反省	W	T	17	大集団
	4	脚 (1) シーソー ・ 2人いっしょにしゃがむ、立つ ・ 2人組で交互にしゃがむ、立つ	W	T	15	大集団
陸上 (高とび)	1	(1) 集合 (2) 学習めあて指示	W	T	5	大集団
	2	高 と び (1) 助走をつけ、片足で踏み切ってとぶ ・ 1本のゴムをとぶ ・ 助走は1-2m (2) 助走をつけ、片足で踏み切って高くとぶ ・ 2本のゴムをとぶ ・ 高さ(35cm~50cm) ・ 助走は2-3m (3) 斜から助走してとぶ ・ 左足踏み切り、右足着地 ・ 右足踏み切り、左足着地 (4) ゴムとびあそび ・ 段ちがい三角形をとぶ	W	T	35	大集団 中集団
	3	おわりの話し合い (1) 助走をつけて片足で踏み切ってうまくできたか (2) 高くとぶことができたか (3) 仲よくとべたか (4) 次時の予告 (5) 身体の清潔	W	T	5	大集団
ボ ー ル 運 動 (ボ ー ル け り あ そ び)	1	(1) 集合 (2) 学習めあて指示	T	W	9	大集団
	2	ボ ー ル け り あ そ び (1) てんりゲーム ・ 2人組でやる、とめる ・ グループでやる、とめる(4人~6人) (2) 対列フットボールのゲーム ・ ゲームの方法を知る ・ A組のゲーム ・ B組のゲーム ・ 優勝チームのゲーム (3) 対列フットボールのゲーム ・ グループ対抗のゲーム ・ カバーのしかた (4) まとめのゲーム ・ 攻め方、守り方 ・ 交替のしかた ・ 応援のしかた	T	W	50	大集団 小集団
	3	整 理 運 動 (1) 全身運動	T	W	8	大集団
	4	おわりの話し合い (1) ボールけりあそびについて ・ よい点、わるい点 (2) 次時への予告	T	W	8	大集団
	5	用 具 の あ と し ま つ (1) 分担してしまふ (2) 運動後の身体の清潔	T	W	15	中集団